

# えちぜん 議会たより

vol.  
69  
2022.8.1



越前町

人と技  
海土里織りなす  
快適なまち



七夕会 ハッピーがたでニッコリ (朝日南保育所)

## 目次

第2回臨時会・6月定例会報告	2P~5P
議員7人が一般質問	6P~12P
現場踏査・知事と語る会	13P
常磐小学校議会見学	14P
出欠状況	15P
町議会広報研修会・表紙の写真	15P
がんばってます!・編集後記	16P



あつい夏 プールで水遊び



第2回臨時会

会期/5月13日

専決処分の承認・補正予算

新型コロナウイルス感染症対策

※国の「新型コロナウイルス感染症対策」に応地方創生臨時交付金を受け、対策を実施

「修学旅行キャンセル料補助」

171万7千円

町内小・中学校の修学旅行を中止した場合に生じるキャンセル料について、保護者の経済的負担を減らすため、補助金を計上する。

「農業肥料高騰対策支援」

1,994万円

肥料価格の高騰が農業経営を圧迫しているため、肥料購入費用の一部を支援する補助金を計上する。

委託先 J A 福井県

対象作物① 水稲

交付額 2,000円/10a

対象者 令和4年産水稲作付面積が10a以上の者

対象作物② 麦・大豆・そば・野菜等

交付額 令和4年に購入した肥料代の10%以内(上限額30万円/人)

対象者 令和4年産作物を出荷販売する者

「効率的な行政事務の環境整備」

985万6千円

庁内での行政事務のペーパーレス化を目指し、効率的な行政運営を行うため、WEB会議やデータ共有等を利用できるシステムの環境整備費用を計上する。

「保育所トイレ改修」

194万円

新型コロナウイルス感染症のリスクを減らすため、朝日南保育所および小曾原保育所の職員トイレの改修工事を計上する。

「えちぜんちよう割の発行」

500万円

町内の消費行動を喚起し、地元小規模商店を支援するため、町内の参加店舗で利用できる電子クーポン「えちぜんちよう割」の発行委託料を計上する。

利用店舗 ふく割に登録した町内に事業所を有する小規模店舗

内容 税込1,500円以上の会計で、500円の割引クーポンを発行



中山間集落農業支援

1,449万6千円

県の補助を受け、昨年7月の豪雨により被害を受けた柘川区の農業用施設と機械設備(遠赤外線乾燥機など)の再整備費の一部を補助する。

町営住宅改修

8,502万5千円

国の補助を受け、越前町公営住宅等長寿命化計画に基づき施設の長寿命化を図るため、朝日団地は屋上防水と外壁改修を、南団地は外壁改修を行う。



朝日団地(A棟)の外壁



南団地(2階建)の外壁

津波ハザードマップ作成

630万円

国と県の補助を受け、町は、県が津波浸水想定を見直したことにより、既存の越前町津波ハザードマップを更新するため、委託料を計上する。



津波ハザードマップ

AI学習支援システム利用

110万円

町内中学校の中高一貫連携生徒(現3年生)の苦手分野の解消と学力向上を図るため、教材として使用する「AI学習支援システム」の利用料を計上する。

物品売買契約

除雪ドーザ(11t級)購入

契約金額 2,178万円

契約の相手方 千代田機電(株)福井店

給水車購入

契約金額 1,303万5千円

契約の相手方 (有)堀自動車工業

6月定例会に提出された議案等

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Lists various budget and administrative proposals.

第2回臨時会に提出された議案等

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Lists emergency session proposals including budget adjustments.

6月定例会

会期/6月8日~14日

条例

押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

行政手続きにおける町民の負担軽減や利便性の向上のほか、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、申請書等の押印手続を見直すことに伴い、関係条例を整理する条例を制定する。

補正予算

寺家区集落センター改修

355万4千円

県の補助を受け、介護予防活動(健康づくり教室等)を継続的に実施している自治会に対して、集会所の改修に要する費用の一部を補助する。

子宮頸がん予防ワクチン接種

851万9千円

子宮頸がん予防ワクチンを接種する機会を逃した人(キャッチアップ世代)への接種や定期接種に要する委託料等を計上する。



# 新型コロナウイルス感染症対策事業



新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、町民の生活を支えるため、必要な経費を計上する。

## 2 物価高騰等に対する生活支援

### ● 子育て世帯への支援(国事業) …… 1,051万3千円

食費等の高騰に直面する低所得(住民税均等割非課税)の子育て世帯に対し、特別給付金を支給する。

- 児童(0歳から高校生相当まで)一人あたり50,000円

### ● 学校給食費等の物価高騰対策 …… 591万1千円

燃料費、給食賄材料費の高騰分を町が負担し、給食の質を維持する。



学校給食

### ● 妊婦への支援 …… 609万円

妊婦に対し、感染症予防対策にかかる経済的負担を減らすため、給付金を支給する。

- 一人あたり30,000円

## 3 感染拡大の防止

### ● 避難所での間仕切りテント等の整備 …… 710万円

感染リスクの軽減を図るため、コロナ禍での避難所開設時に使用する間仕切りテント、トイレ凝固剤などを整備する。

### ● 教育旅行体験施設の環境整備 …… 2,268万円

教育旅行体験施設「おととLabo」に、衛生上必要な給排水設備を整備するほか、密を避けるために必要なテントを購入する。



「おととLabo」で魚さばき体験

## 1 地域経済の活性化対策

### ● プレミアム食事券の発行 …… 3,270万円

町内の旅館・民宿・料亭への支援として、プレミアム食事券を発行する。

- 10,000円分を5,000円で販売(4,000セット)
- 越前町民限定(1世帯3セットまで)

町内の飲食店等への支援として、プレミアム食事券を発行する。

- 5,000円分を2,500円で販売(4,000セット)
- 越前町民限定(1世帯1セットまで)

### ● えちぜん輝きクーポンの発行 …… 3,100万円

町内飲食・宿泊事業者の支援に加え、町内店舗における消費行動拡大を目的に「えちぜん輝きクーポン」を発行する。

- 会計1,000円につき、次回利用可能な300円のクーポンを発行(100,000枚)  
(発行は、クーポン取り扱いの町内飲食・宿泊事業者。クーポンは発行店の他、取り扱いの申し込みをした店舗で利用可)

### ● 高齢者生活応援商品券の発行 …… 2,721万1千円

高齢者に対する生活応援に加え、町内店舗の支援を目的に商品券を発行する。

- 一人あたり3,000円(対象:本年4月1日現在、65歳以上の越前町民)

### ● デマンドタクシーを活用した支援 …… 68万1千円

コロナ禍における外出支援と生活支援を目的に、デマンドタクシー「チョイソコえちぜん」の利用者に対し、特典を進呈する。(200人)

10月31日までに3回以上利用した方に、越前町商工会発行の商品券3,000円分を進呈







一部を抜粋して掲載しています。  
全文をご覧になりたい方は、  
こちらをご覧ください。



(スマートフォン用)



## 時田 和良 議員

### 行政のDX推進計画の現状と今後について

時田

昨年、デジタル社会の実現に向けた基本方針が閣議決定され、国はデジタルガバメント実行計画並びに自治体DX推進計画を策定した。本町においてもDX推進室が設置され、DX推進計画に沿って進めていると思うが、現在の状況は、

#### 総務理事

国はデジタル化を進め、国の行政手続を原則オンライン化するとしている。計画では今年度末までに、児童手当の現況届など27の行政手続について、マイナンバーカードを用いてオンライン申請を可能とし、令和7年度までに、住民情報など18の業務について、国の策定するシステムへ移行する。これらは、丹南広域組合および県電子自治体推進協議会と連携し、国の計画に遅れることなく整備を進めていく。

時田

DX推進に関する予算が組まれているが、具体的にどのようなことが変わっていくのか。

#### 総務理事

ペーパーレス会議にするなど、職員の業務の効率化を図る。また、町民の皆様は、27の行政手続について、

### 越前町内におけるDXの推進について

て、次年度以降オンラインで届出や申請が行えるようになる。今回上程した「押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定」も行政手続のオンライン化に伴うものである。また今年度から、役場に寄せられる問い合わせについて、チャットボットを活用していく。

町内小中学校においては、GIGAスクール構想に基づき、各児童・生徒1人に1台のタブレットを配置し、ICTを活用した学習活動を進めている。

時田

これから人口減少が進み、財政も厳しくなっていくことが予想される。デジタル化を進め、経費や労力の削減、行政サービスの提供が維持できるように努力してほしいと思うが、町長の所見を伺う。

町長

DX時代と呼ばれている昨今、誰一人取り残すことのない、人に優しいデジタル化を推進する必要があるため、全国で標準化される業務は、遅滞なく進めていく。一方、DX推進の効率化が進む半面、システム保守料等の増加が予想されるため効果を十分に見極め、限られた財源の中で導入を検討していく。

# いっぱん質問



一部を抜粋して掲載しています。  
全文をご覧になりたい方は、  
こちらをご覧ください。



(スマートフォン用)



## 吉田 憲行 議員

### 越前町内の空き家の現状と具体的な対策について

#### 空き家問題をみんなで考えよう

吉田

令和3年10月現在で、本町に活用可能な空き家が574件あり、このうち令和4年5月現在、「空き家情報バンク(注1)」に21件が登録されている。この制度は空き家対策として、実効性が見込めるのか。

#### 建設理事

登録物件は、県宅地建物取引業協会の会員である仲介業者と媒介契約している良好な物件であり、実効性が見込める。

吉田

登録数が21件では有効性が低いと思うが、空き家情報バンク以外の施策は、

#### 建設理事

登録物件数について近隣市町と遜色はなく、空き家情報バンク制度は、空き家の流通を高めるほか、本町に親戚等がいない移住者にとっては安心して利用できる制度である。ほかにも同様な施策はないが、今年度から所有者に代わって雑草の除去や見守りを行って「空き家適正管理促進事業」を予算化し、空き家が流通しやすい環境を保つよう努めている。また、今年4月から着任した「地域おこし協力隊」は、空き家所有者へ

### 結婚・出産・子育て支援について

「第2次越前町総合振興計画」で、出会いや結婚を支援する、子どもを産み育てやすい環境をつくらなければならないのか。

#### 民生理事

縁結び奨励金事業や若者出会い交流応援事業、また本年度から、結婚新生活支援事業も実施している。妊婦さんや乳幼児の保護者にはアプリを活用し、教室や健診等の情報を提供するほか、子育て支援センターでは、相談を受けたり、親子が遊べる場所を提供するなど、情報交換や仲間づくりを支援している。

時田

コミュニティ運営委員会には、若者を対象とした企画の予算があるが、その活動に制限をつけず、イベントに若者同士の参加を求めながら、その予算を弾力的に運用して使用できるようにならないのか、町長の所見を伺う。

町長

予算について特段の制約はなく、若者同士が集うイベントや、地域の人々が集う場への参加なども含め、有効に活用し、出会いや結婚へのきっかけになることを期待する。

### 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた取り組み

時田

2024年春、北陸新幹線金沢敦賀間が開業されるが、アフターコロナ、また円安によるインバウンドの回復が見込まれるなか、どのように準備を進めているのか。

#### 産業理事

宿泊業や飲食店には、経営のアドバイスや施設改修への支援を行っている。また、消費者ニーズやインバウンド対策として、キャッシュレス決済システム導入への助成や集客セミナー、音声翻訳機の活用など、町観光連盟と連

時田

全国への発信や新幹線駅からの二次交通の問題など、町単独では解決が難しい問題もあり、県と連携し進めていかなければならないと思うが、町長の所見を伺う。

町長

二次交通対策は重要な課題であり、官民一体となった取り組みを推進すると共に、県や丹南市町、関係機関と十分に連携・協働し観光誘客を図っていききたい。

町長

5項目の目標指数のうち、4項目は達成し、残り1項目についても達成可能と見込んでいる。

「越前町空き家等対策計画」の見直しは、他市町等の先進事例を参考にしながら、地域おこし協力隊からの現場の声も反映させ、新しい施策を検討していく。また、司法書士などの専門家による空き家無料相談会をとおり、空き家利活用の促進を図りながら地域住民や関係団体と連携し、空き家対策に取り組んでいく。

### 越前海岸でのレジヤ―観光客の迷惑行為は正喚起について

#### マナー違反を見逃すな！住民ファースト

吉田

マナー違反の釣り客等を取り締まることはできないのか。

#### 産業理事

町内の漁港は全て漁港漁場整備法の適用を受ける漁港であり、地方自治法上は公の施設に位置づけられ、正当な理由がない限り住民の利用を拒んではならないとされている。このような中、マナー違反に対しては、町が中心となり、海上保安庁

注1.. 空き家情報バンクとは  
空き家物件情報を自治体のホームページ上などで提供する仕組み

注2.. 特定空き家とは  
国土交通省が示している基本方針「倒壊の恐れ」「衛生上有害」「景観を損なう」「放置することが不適切」の4項目のいずれかに該当する空き家

町長

町民の生活を脅かすような行為を放置することはできないので、これまで以上に県や漁業関係者との連携を強め、法令の範囲内でマナー啓発に取り組み。また他市町の動向を参考に、より実効性のある対策を検討し、必要に応じ条例の制定も検討していききたい。





一部を抜粋して掲載しています。全文をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



## 高田 浩樹 議員

町外に比べての情報発信の目的の一つには、地域に関する特徴や魅力をブランド化し、世間への認知を広げ、多くの人がびとを呼び込むことがあることから、特産品や風光明媚な景色などの町のPR情報、移住・定住・UIJターンに関する情報などを発信している。発信手段としては、インターネットによる広報、オンラインによる移住相談窓口、ふるさと納税者へのメールマガジン、県外での移住等フェアへの参加、居住体験施設の活用などがある。

町外に比べての情報発信の目的の一つには、地域に関する特徴や魅力をブランド化し、世間への認知を広げ、多くの人がびとを呼び込むことがあることから、特産品や風光明媚な景色などの町のPR情報、移住・定住・UIJターンに関する情報などを発信している。発信手段としては、インターネットによる広報、オンラインによる移住相談窓口、ふるさと納税者へのメールマガジン、県外での移住等フェアへの参加、居住体験施設の活用などがある。



越前町ホームページ

町外に比べての情報発信の目的の一つには、地域に関する特徴や魅力をブランド化し、世間への認知を広げ、多くの人がびとを呼び込むことがあることから、特産品や風光明媚な景色などの町のPR情報、移住・定住・UIJターンに関する情報などを発信している。発信手段としては、インターネットによる広報、オンラインによる移住相談窓口、ふるさと納税者へのメールマガジン、県外での移住等フェアへの参加、居住体験施設の活用などがある。

町外に比べての情報発信の目的の一つには、地域に関する特徴や魅力をブランド化し、世間への認知を広げ、多くの人がびとを呼び込むことがあることから、特産品や風光明媚な景色などの町のPR情報、移住・定住・UIJターンに関する情報などを発信している。発信手段としては、インターネットによる広報、オンラインによる移住相談窓口、ふるさと納税者へのメールマガジン、県外での移住等フェアへの参加、居住体験施設の活用などがある。

# いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



## 伊部 良美 議員



### 移住支援金制度について

**新規事業は情報の共有を**

**伊部** 5月の広報えちぜんの「移住就職支援金制度」のお知らせを見た町民が、「対象者ではないか」と思ったとのことだが、移住する前に東京から役場に相談の問い合わせがあったのか。

**建設理事**

移住就職支援金制度については、4月1日から町のホームページで周知しており、それ以降、制度に関する問い合わせが多くあることから、個別の記録は残していない。

**伊部**

移住した方は、役場の窓口で、転入届や原付のナンバー変更、児童手当などの申請を行うというところで、3月22日に住民票を本町に移したらしいが、間違いないか。

**民生理事**

3月22日に転入手続をされている。

**伊部**

3月18日に議会が終わり、この移住就職支援制度については決議されている。その方が22日に住所を移すときに、役場の窓口担当者、制度の説明をしなかったのか。

### 高校生の通学支援について

**自己負担だけで定期券購入を**

**伊部** 高校生に対する新たな通学補助制度がスタートしたが、保護者から制度に関する苦情はないのか。

**総務理事**

申請に来られた保護者から「自己負担額が増えた」との意見や、事後申請になったことから「定期券を購入する際、一旦お金を用意しなければならぬ」といった意見はある。しかし、制度そのものに対する苦情はない。

**伊部**

一括購入以外の定期券を購入している人は何人ぐらいなのか。

### コミュニティセンターの在り方

**決裁業務に支障はないのか**

**伊部**

各コミュニティセンターに役場を退職した職員が新しくセンター長として配置されている。経験も豊富で申し分ないものと思っているが、職場内の位置づけについて。

**町長**

センター長は、地域コミュニティの活動支援や地域と行政をつなぐ役割を担っている。これまで行政職員として培ってきた知識や経験も豊富で、積極的に地域と関

**総務理事**

一括購入以外の方は全部で27人、そのうち丹生高校の生徒は7人である。

**伊部**

一括して購入することに関して、来年度からは学生の負担分だけで定期券を購入できるように、便宜を図れないか。

**町長**

今年度、制度の見直しを行ったところであり、制度見直し後も県内トップの助成となっていることから引き続き実施をしていきたい。

**伊部**

コミュニティの課長で決裁が終えていたものが、現在では本庁の課長の決裁を仰いでいるが、業務に支障はないのか。

**町長**

本庁で決裁を必要とする課長は限られているので、支障はない。

### 地域活性化と発信力について

**情報発信の分野や手段は？**

**高田**

町内および町外に向けての情報発信には、どのような事柄や手段があるのか、現状について伺う。

**総務理事**

町民を対象にした情報発信には、町民の生命・財産を守るための災害・防災関連、町の主要な施策や制度、各種申請や事務手続きの方法、文化・スポーツ、イベント開催に関するものなどがある。情報発信の手段としては、防災行政無線、出版物として「広報えちぜん」、インターネットによるものとしてホームページ、メール、LINE、子育て支援アプリ、YouTube、また、新聞やケーブルテレビなどのメディアの活用がある。

**本町のホームページに求められていることは？**

**高田**

総合振興計画において、ホームページのアクセス件数の目標指標があるが、どういったことが本町のホームページに求められているのか、見解を伺う。

**総務理事**

本町のホームページのアクセス件数は、令和7年度に1日1,200件を目値としてしているのに対し、令和4年度は、推計で1日約530件であることから、新着・更新情報を簡潔に配信するRSS機能の追加、プレスリリースした情報の掲載など、新たに取組みを行っている。

ホームページでは、「新型コロナウイルス感染症関連」を除くと、「空き家・空地情報バンク」に最もアクセスが多く、次に、「町営住宅の入居者募集」、「ごみカレンダー」、「粗大ごみの出し方」、「道路のライブカメラ」など、生活に密着した情報にアクセスが多い傾向にある。

**情報発信における課題と対策は？**

**高田**

町内および町外に向けての情報発信における課題と対策を伺う。

**総務理事**

町内に向けた情報発信では、広報紙などを読みやすい紙面にしていくことが課題である。対策としては、文字だけでなく写真やイラスト、レイアウトに配慮していく。インターネットによる情報発信では、即時性と拡散力が利点である一方、登録者数の伸びの鈍化が課題である。対策としては、「広報えちぜん」をはじめとした紙媒体、役場内各窓口QRコードを掲載するなどして、登録者数の増加に努める。

町外に向けての発信では、情報の拡散が重要である一方、体制づくりができていないことが課題である。対策としては、イベント情報サイトの活用などを積極的に活用していきたい。

**情報発信の在り方の整理、再編は？**

**高田**

情報発信の在り方について分析を行い、今後、整理、再編していくことについての見解を伺う。

### 地域活性化を見据えた情報発信について

**高田**

情報発信において、地域活性化を見据えていることが重要だと考えるが、このことについて町長の所見を伺う。

**町長**

越前町に愛着を持ち、生き生きと暮らし、越前町に興味を持っていただくことが地域活性化の原点であると考えている。地域活性化を念頭におき、越前町に関するいろいろな分野で興味をもてるよう町内および町外に力強く、また積極的に情報発信、情報公開ができるよう努めていく。





一部を抜粋して掲載しています。  
全文をご覧になりたい方は、  
こちらをご覧ください。



## 中西 清 議員

# いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。  
全文をご覧になりたい方は、  
こちらをご覧ください。



## 木村 繁 議員



### 若手職員目線で町の施策を

**若手職員**の施策を町政に

**木村** 福井県では、若者支援に力を入れており、県内で地域活動に取り組む若者を各市町の40歳以下の若手職員がサポートする「若者チャレンジ応援公務員(市町職員)」が結成され、県の若手職員応援チームと連携をしていくそうである。応援公務員には、11市町の28人が登録されたそうだが、本町の参加状況および地域活動に期待することについて、町長の所見を伺う。

**町長**

本町においても若手職員の育成という観点から、今後の本町を担っていく若手職員の政策プレゼンに対する町長の所見を伺う。

**町長**

応援公務員には、本町で2名の職員が参加をしている。現在は、越前町の若者からの応援依頼や相談はないが、今後、応援の輪が広がることにより、若者も夢に向かって挑戦しやすくなり、活動も活発になることを期待する。そして、若者が地域で活発に活動することで町がにぎわい、地域振興の活力にもつながると考える。

**木村**

南越前町では、若手・中堅職員が地域おこしや町民の生活向上に関する施策を町長や町幹部にプレゼンする「職員政策提案制度」を導入した。プレゼンは、若手職員のやる気や能力を引き出しただけでなく、ベテラン職員にも大いに

### 高齢者の介護予防について

**脳ドック**への助成を

**木村** 本町においても、医療費の抑制や特定健診、人間ドックの助成を行っているが、国の高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に伴い、県内のある市では、本年4月より脳ドックの助成事業を新設している。

**町長**

本町における医療費維持を踏まえた、年齢制限のない脳ドックの受診推進および助成について、町長の所見を伺う。

**町長**

県内の14市町が、国保被保険者の脳ドックに対し、1万円から

3万6千5百円までの助成を行っている。一方で、脳ドックの助成を行っている市町の多くは、後期高齢者の人間ドックの助成を行っていないか、もしくは本年度から廃止をしている。

本町では、30歳以上の国保被保険者と後期高齢者の人間ドックに、2万8千円の助成を行っており、本年度も後期高齢者への助成を継続している。

医療費の増加による厳しい財政状況の中、新たに脳ドックの助成を行う場合は、それに伴う財源が必要となる。保健事業の見直しを図るなど、財源の確保を含め検討していきたい。

### サニタリーボックスの設置について

**サニタリーボックス**の設置を

**木村**

前立腺がんなどの病気が原因で尿漏れパッドを使用している人たちが、その処理で困っていることから、公共施設の男性用トイレにサニタリーボックス(汚物入れ)を設置しようとする自治体があるが、本町の設置状況について伺う。

**民生理事**

設置しているところはない。

**木村**

今後の設置について伺う。

**町長**

公共施設の利用状況および利用者の年齢層等を考慮し、必要性の高い施設から順次導入を進めていきたい。また導入にあたっては、トイレの定期的な巡回や汚物処理上の感染予防など、衛生面の条件を整えた上で実施していきたい。

### 国民健康保険税均等割の子ども分の免除について

**子ども**の国保税均等割免除を

**中西**

町の人口減少抑制のために、子育て世帯の定住化と少子化対策が大きな課題であり、町長も子育て支援については、スピード感を持って制度設計を行いたいと表明している。

本町の多くの施策は、国や県の支援金の範囲にとどまっており、工夫をして財源を確保し、子育て世帯が生まれ育った町で安心して暮らせる、また越前町で子育てしたいと期待できる経済的な支援環境づくりが大切ではないか。

町民から「国保税が高い」と不満の声が寄せられていることから、国保税均等割の子ども分の免除について検討をしていただきたい。

**町長**

国保税は、加入者の受益に応じて課せられ、加入者数や医療費などの推移を勘案して税率を定め、賦課方式は、所得割・被保険者均等割・世帯別平等割の3方式となっている。令和2年度の市町別1人当たりの年額保険料は、県内で永平寺町、福井市に次いで3番目に高くなっている。

### 県の子育て支援事業費に対する事業計画について

**全天候型**の遊び場はどうする

**中西**

県は、子育て支援の一環として、全天候型の遊び場を整備するため、5年間で17市町へそれぞれ1億円を支援することを決めた。この支援策には、遊び場以外の子育て支援事業も含まれるのか、これまでの検討状況や事業計画が提出済みの場合は、その具体的な内容について伺う。

**町長**

県要綱では、この事業は、天候にかかわらず子どもたちが安心して遊ぶことができる遊び場づくりを促進し、心身ともに健やかな子どもの成長を支援することを目的としたもので、全天候型の遊び場の整備に対する補助事業である。

実施の主体は市町、補助基準額は1市町あたり上限1億円、補助率は100%、事業期間は令和4年度から8年度までの5年間の予定である。補助対象経費は、遊び場の整備に必要な経費で、子ども(3歳から12歳)の成長に配慮した遊具等の設置も含まれる。また、土地の取得費や造成費、既存施設の解体撤去費、ソフト事業費は補助対象から外れる。

**町長**

本町には越前サブコミュニティセンターがあり、場所の広さは十分にあると思うので、検討できないか。

**町長**

具体的に決まっていらないので、答弁は差し控えていただく。





農山漁村就業者定住促進施設  
建築工事

人材の確保や若者の定住促進を目的に、農林水産業従事者の単身用住宅を新築した。

- 総事業費 3,257万7千円
- 木造平屋建 集合住宅1棟(4戸)
- 間取り 1K



町営住宅改修工事

越前町公営住宅等長寿命化計画に基づき、屋上防水と外壁を改修する。

- 工事請負費 朝日団地 4,900万円 (屋上防水、外壁改修)  
南団地 3,098万円 (外壁改修)
- 工事箇所 朝日団地 A棟(12戸)、B棟(12戸)  
南団地 4棟(8戸)



いっぱん  
質問

一部を抜粋して掲載しています。  
全文をご覧になりたい方は、  
こちらをご覧ください。



(スマートフォン用)



石田 和朗 議員

悠久ロマンの杜の現状  
悠久ロマンの杜の振興対策について

石田

5月中旬に、車で悠久ロマンの杜に行く通り道で、近く撤去する予定と聞いているスーパーライダーのステーションの周りには雑木が生い茂り、また近くの閉鎖しているパターゴルフ場も雑草が生い茂っていた。

悠久ロマンの杜の誘客対策として、かやぶきの宿やコテージを修繕するほか、北陸新幹線福井開業にあたり、新たにドッグランやバーベキュー、子ども広場などを拡充する計画だが、美観の保持などよい方向に進め、誘客につながるよう期待する。

アクセス道路対策は

石田

悠久ロマンの杜へのアクセス道路について、一部道路の幅員が狭く、車の対向通行が困難な箇所がある。対策としては、道路の拡幅工事や入尾区から悠久ロマンの杜に抜けるバイパス建設があるが、必要性を伺う。

悠久ロマンの杜に通じる町道沖田・笈松線は、地域の皆様の生活道路として、また悠久ロマンの杜や越知山、六所山等を訪れる観光客にとって、重要な観光アクセス道路として利用

されている。当路線は、狹隘な箇所や急カーブが多いことから、平成27年度に「越前町辺地総合整備計画」を策定し、昨年までの7年間で約1億4千万円をかけ、改良整備と安全対策を行い、改善が図られた。

しかし、集落内や悠久ロマンの杜までの一部道路の幅員が狭い点や水道施設、悠久ロマンの杜の宿泊施設等の老朽化、更に悠久ロマンの杜全体の活性化など、多くの課題が残っていることから、総合整備計画を5年間延長した。

令和6年春の北陸新幹線福井開業への期待が膨らむ中、令和5年には国道417号の福井県と岐阜県の県境にある冠山峠トンネルが開通予定であり、本町への観光誘客には絶好のチャンスを迎えようとしている。これを逃さないためにも、入尾・笈松両区の住民の皆様が生活環境の改善を図るとともに、現地を訪れた方がスムーズに目的地に到着できるように、道路の整備を進めていく必要がある。

入尾区「越知隧道」から悠久ロマンの杜に抜けるバイパスについては、現在の交通量や冬の除雪、整備費用などを考慮すると、まず現道の側溝の蓋がけや舗装などから道路改良を進めていく。



広域基幹林道越前西部3号線

美観保持、維持管理体制は

石田

悠久ロマンの杜を訪れる皆様への「おもてなし」や、山や谷、川の清流などの豊かな自然、澄んだ空気は一層のごちそうだと思いが、顧客満足のため、美観の保持、今後の整備や維持管理体制をどのように考えているのか、町長の所見を伺う。

町長

今後の整備に関しては、「悠久ロマンの杜活性化事業」を基本に、具体的な内容については、各年度の予算編成の中で示していく。

悠久ロマンの杜や周辺環境の美観保持について、町においては、町道や広域基幹林道沿いの草刈りや清掃

などを行い、通行の安全確保と環境美化に努めていく。また周辺に関しては、指定管理者において清掃美化に努めていく。

すでに閉鎖した、スーパーライダーやパターゴルフ場などは、順次撤去を進め美観の保持に努めていく。

旧萩野小学校笈松分校の存続を

石田

悠久ロマンの杜への通り道にある「旧萩野小学校笈松分校」が、「おしよりん」の映画のロケ地に決定し、先日撮影が行われた。来年の秋公開予定と聞かされたが、公開されれば映画の舞台となった「聖地巡礼」で、本町を訪れる観光客もいると思われる。誘客のための観光施設として、笈松分校の存続について伺う。

知事と語る会



去る、5月22日(日)越前町社会福祉センター朝寿殿で、杉本達治福井県知事と越前町議会議員との意見交換会「知事と語る会」が開かれました。

最初に、杉本知事から県政一般の現状や展望、また越前町についての思いや今後のあり方について報告がありました。その後、議員代表による質問や要望に対する答弁がなされました。



- 1 北陸新幹線福井・敦賀開業やアフターコロナを見据えた観光関連事業の越前町と福井県の連携について、特に県の観光発信において越前町が最近あまりPRされていないのではないかと
- 2 県内の2次交通計画と越前町内との連携について
- 3 新幹線駅と越前町を結ぶ2次交通の要望について

知事からは、越前町の観光資源は福井県にとって、なくてはならないものである。特に「越前がに」は全国のトップブランドであり、県内の漁獲高が1番の越前町は重要な町であると認識している。また、2次交通の問題に関しても、関係市町と連携を取りながら進めていくなど、いずれの質問にも親切丁寧にお答えいただきました。

そのほか、県内町内の除雪体制、越前町の漁業、災害対応や河川等の土木関係について、また知事の短期移住生活「微住」を越前町で実施願いたいなど、多岐にわたる様々な意見・要望が出されましたが、それぞれの確かな返答をいただき、議員一同、有意義な時間を過ごさせていただきました。今後このような機会を設けていただき、福井県と越前町の結びつきをより深めていきたいと思っております。(時田)



# 議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

3月19日～6月14日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	笠原 議長	佐々木 副議長	小松 議員	時田 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	藤野 議員	米沢 議員	伊部 議員	木村 議員	北島 議員
3	29	火	県後期高齢者医療広域連合議会 定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	7	木	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-
	28	木	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
5	9	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	金	議会運営委員会 第2回議会臨時会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
	26	木	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
6	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
		議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
8	水	6月定例会 本会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
9	木	6月定例会 本会議（2日目） 総務文教厚生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	10	金	6月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	月	6月定例会 全員協議会 議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
14	火	6月定例会 本会議（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
		6月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
		議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-

## 常磐小学校の6年生が 議会を見学されました！

6月3日に、常磐小学校の6年生4名が、社会科の校外学習で越前町議会を見学されました。  
議会事務局職員が議会の役割やしくみについて説明した後、本会議での一般質問の動画視聴や議場の見学を行いました。



笠原議長と対話（議長室にて）



議会の役割について学習（全員協議会室にて）



議場内の見学

**表紙の写真** 朝日南保育所（佐々木）  
（上段写真）子ども達が楽しみにしていた七夕会。保護者の方が用意してくださった笹に、笹飾りや願い事を書いた短冊を飾り、みんなで海の生き物をテーマに作ったおみこし。当日は、ハッピー姿で出店の店員になって楽しみました。  
（下段写真）水遊びが大好きな子ども達。プールでは、子どもの笑い声と笑顔あふれる毎日です。今年は7月後半からお盆まで、保育所の横の大きな南プールで存分に楽しむ予定です。子ども達は、今からとても楽しみにしています。

### 7月1日 町村議会広報研修会に参加

県自治会館において、議会広報研修会が開催され、県内の町議会の広報担当議員が参加しました。ピーアールデザインジャパン（株）の佐久間氏を招き、「住民に伝わる議会広報の作り方」について講演が行われました。

今後は、「えちぜん議会だより」の紙面づくりに、研修会で得たものを参考にしていきたいと思えます。

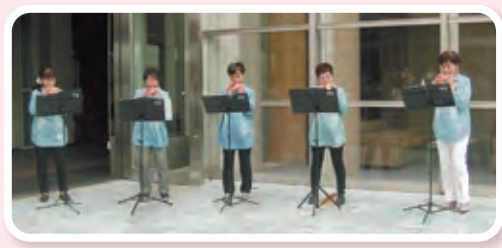
### 議会を見学しての感想

- 町民の願いはいろんな過程を通して実現していることが分かり、また議会にも委員会があることにびっくりしました。（荒木梨杏さん）
- 心に残った場所は、議場です。実際に、議長席に座らせてもらったり、色々なことを教えてもらったりしたからです。（佐田篤生さん）
- 今まで町議会のことをよく知らなかったのですが、見学をして議会の役割を知ることができました。（中山碧さん）
- 見学で話を聞いて、何かを決めるために、時間をかけて話し合いをしていることが分かりました。（長谷川陽愛さん）





**自己紹介をお願いします**  
私たち「オカリナサークル ティアーモの会」は、2017年に、文化協議会での体験教室に参加したのがきっかけで結成しました。現在は、女性6名の会員で活動しています。



Interview activities

活動内容について 教えてください

毎週金曜日の午後7時30分から午後9時まで、朝日生涯学習センターで楽しく練習しています。  
ぬくもりコンサートや文化祭、ミニ芸能祭で演奏しています。また、慰問などに参加することもあります。6月には、越前町役場の中庭で、町民の憩いの場になるようにと願いを込め、ミニコンサートを行いました。



最後に一言お願いします

まだまだ未熟で、お聞き苦しい所もありますが、温かく見守っていただき、たくさんの方を経験し、楽しく活動したいと日々頑張っています。  
みんなで一緒に、優しい音を奏でましょう。仲間を募集中です！  
(インタビュアー 長谷川)

お問い合わせ  
内藤小夜子  
090-8269-09945

傍聴席へどうぞ 次の定例会は9月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

春には丹生高校野球部が甲子園に初出場し、大変盛り上がりましたが、今度はお兄ちゃんに負けずとばかり、「越前ニューヒーローズスポーツ少年団」が全日本学童軟式野球大会福井県予選で、優勝を勝ち取りました。今後は、小学生の甲子園と呼ばれている高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会に福井県代表として出場しますが、晴れ舞台での活躍を期待いたします。

議会だよりは、町民の皆様の活躍をお伝えする「がんばります」の掲載や、定例会での報告など、町民に寄り添い、分かりやすくお伝えするように取り組んでおります。

「議会だより」についてのご意見やご要望、また「がんばります」の取材依頼などお待ちしております。  
(石田)

議会広報特別委員会

- 委員長 藤野 菊 信  
副委員長 小松 高 宏  
委員 米沢 康 彦  
中 西 清 恵  
長谷川 眞 恵  
石田 和 朗  
吉田 憲 行  
時田 和 良

町ホームページ QRコード



(スマートフォン用)

町LINE QRコード



(スマートフォン用)

町公式動画チャンネル QRコード



(スマートフォン用)

バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

町ホームページ 議会QRコード



(スマートフォン用)